

リード界の名匠 シュトイヤーで 腕を振るろう！

クラリネット・リードに新しいスタンダードが生まれる？

——リード作りに今までどのような携わって来られましたか？

シャルパンティエ 私は1972年に、パリにある、この世界では有名なクラリネットとサクソフォン・リードの会社でこの職業に就きました。その後、この会社はパリでは手狭となり、工場を拡大し、南仏に移しました。

私の経験や技量も年々ひろがり、製造責任者、技術部長、工場長とキャリアを積み重ねると同時に、リード作りの魂にも当たる「モデル」を創るようにもなりました。この会社の当時の「モデル」は、この会社の社長自身か私の手によるものがほとんどです。

2011年、シュトイヤー社がドイツから南仏のヴァール県に移されたのを機に、私は技術責任者および製造ディレクターとして、シュトイヤー社に今までのキャリアを注ぎ込むことになりました。

——今回ベーム・クラリネット用の新モデルを2種類出された意図は？

シャルパンティエ シュトイヤー社は常に高品質のリード作りをして来ましたが、ドイツ、オーストリア・モデルが中心でした。またサクソフォン・リードも同様に製造し、市場に出しています。もちろん、これらのリードは今まで通

りに製造し続けますが、それに加えて、世界的な要望に応えるべく、ベーム・クラリネット・リードの品質向上をもっと追求したいと考えたのです。

——新しいリードの「モデル」はどのような工程で作られるのですか？

シャルパンティエ モデルを作る前に、まず、どのようなリードを作るのかについて、演奏者の要求、要望に耳を傾け、それを理解することから始まります。

モデル作りは、まず「パトロン」と呼ばれる鋼鉄から始まります。リードはこのパトロンの型をもとに、それをコピーするようなシステムで削られます。演奏家の声と自身の経験をもとに、100分の1ミリメートルの単位でモデルの原型を作り上げます。そして、この試作品をもとに作ったリードを、何人もの演奏家に試奏してもらい、厳しいチェックをお願いたします。あらゆる奏法に比べられるよう、細心の注意をお願いします、その意

見に基づき、さらにパトロンに手を加えていきます。

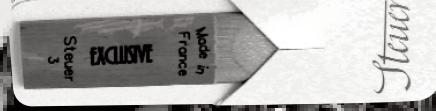
こうした作業を何度も何度も繰り返し、全ての要望に応えられるようになった時にはじめて、モデルが完成します。今回、「CLASSIC」「EXCLUSIVE」のモデル（今号37ページを参照）を完成させるまでに、実に18ヶ月余りの年月が費やされました。

なぜケーンの伸びる方向に合わせるのが大事なのか？

——その新しいリード、「CLASSIC」と「EXCLUSIVE」はどんなリードで、両者にどのような違いがあるのですか？

シャルパンティエ CLASSICは、ヒールの厚さも含めて、従来のリードの製作方法を保っています。とても自然に音が立ち上がるカットです。EXCLUSIVEは、CLASSICの良さを

**世界的なリード会社
の工場長を務めた
フランスの名匠が
ドイツ・リードの名門
シュトイヤーに移籍。
満を持して
ベーム・クラリネット用の
新リードを発表した。**





Steuer Reeds

Marc Charpentier interview

すべて備えた上に、ヒールが厚めになっています。さらに、ケーンの伸びる方向に沿って、リードをカットしているのが特徴です。

例えば、優れた家具職人が優れた家具を作るためには、まず、その素材である木材の木目を見ることが始めるでしょう。そして、その木の伸びた方向に沿って削っていくことでしょう。逆に削ってしまったら、どんなに高級な木材でもきれいな仕上りは得られません。ケーンも同じです。

EXCLUSIVEには、最高級のケーンを選別し、根元から葉の部分に向かう方向に沿って削るように印をつけます。このリードのヒールの部分が薄黄色く着色されているのはそのためなのです。この方法を取り入れることで、より滑らかで



マーク・シャルパンティエ氏。

正確なカットが実現されました。上質なケーンの繊維の密度が非常に高いことは皆さんも良くご存知だと思いますが、このカットでは、ケーンの繊維を傷めることも最小限に抑えられます。リードの表面がささくれたり、いわゆる「スポンジ」状態になるのを防げるため、余分な水分の吸収も抑えられ、リードがすぐに衰えてしまうこともなく、素晴らしい耐久性が得られるようになりました。

また、どんな植物にも見られるように、ケーンにも多数の導管が通っており、根から葉に向かって水分を吸い上げる働きをしています。ですから、リードをケーンの生える方向と逆方向に削ってしまうと、導管は葉の生えている方向に、すなわちリードの内部に水分を送り込もうとします。結果として、逆方向に

削られてしまったリードは、水分を多大に吸収することとなり、これがリードのコンディションを急激に変化させる大きな原因の一つです。

最後に、肝心なリードの素材となるケーンについてお話します。シュトイヤー社で使われているケーンは、すべて最高級の品質で知られるフランス南東部のヴァール県で収穫されたものです。これらの畑は現在のシュトイヤー社のすぐ近くにあり、栽培専門家と私たち自身の目で常にケーンの成長を管理し、殺虫剤や化学肥料はいっさい使わずに、昔のままの栽培方法を保ち続けています。シュトイヤー社では創業当時から現在に至るまで60年あまり、こうしたケーンのみを使って来たという事実も、当社の品質を保証するものだと思います。



シュトイヤーは60年以上にわたるリード・リードの代表的メーカーと見なされて来た名門。多くの著名なブレイヤーの絶大な信頼を得ている。

